

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

公益財団法人 静岡県消防協会

「消防防災の能力の強化、活性化等に関する事業を行い、もって災害防除と地域社会の健全な発展に寄与すること」(定款第3条)を目的に、以下の事業を実施した。

消防団及び消防団員数(令和5年10月1日現在)

35団 16,977名(男性:16,541名 女性:436名)[定員:21,072名]

1 消防団員の消防防災に関する技術の向上及び教育訓練

(1) 全国女性消防操法大会への出場及び助成

第25回全国女性消防操法大会に、静岡県代表として出場した富士宮市消防団に対して助成金を交付した。

令和5年10月21日(土) 東京臨海広域防災公園(東京都江東区)

助成金 700,000円

(2) インストラクター研修会の開催

消防団の活動の活性化と適確な運営に資するため、各団の幹部候補を消防団インストラクターに任命し、団員としての資質向上を図るとともに、多様な知識を有する次世代の消防団幹部を育成することを目的として、インストラクター研修会を開催した。

第1回 令和5年6月11日(日) 静岡県消防学校

受講者 55名

第2回 令和6年2月17日(土) 静岡県産業経済会館

受講者 52名

(3) 支部共催訓練、地震対策訓練等に対する助成

支部が実施する消防団員の消防防災に関する技術の向上に要する経費及び消防団活性化事業に要する経費に対し助成した。

助成金 11,000,000円

(4) 消防団員指導員研修（現場指揮課程）の実施

日本消防協会及び静岡県消防学校と連携し、消防団員指導員の養成を行う研修を実施した。日本消防協会補助金を財源として、講師謝礼、教材費等の経費を手当てした。

令和5年9月30日（土）～10月1日（日）静岡県消防学校

受講者 76名

外部講師謝礼・旅費、教材費等 160,426円

(5) 消防大学校の教育訓練への参加・助成

消防団長科（第84期）1名 令和5年10月16日（月）～20日（金）

入校者 静岡市消防団 団長 古郡 文男

助成金 100,000円

(6) 日本消防協会の特別研修への参加

① 第50回消防団幹部特別研修会

令和6年1月16日（火）～1月19日（金）

研修生 南伊豆町消防団 副団長 長嶋 直人

② 第23回消防団幹部候補中央特別研修

○男性の部

令和6年1月31日（水）～2月2日（金）

研修生 伊豆の国市消防団 団員 二藤 暢太

島田市消防団 分団長 加藤 大樹

掛川市消防団 分団長 竹原 直哉

○女性の部

令和6年2月14日（水）～2月16日（金）

研修生 富士市消防団 部長 大久保 規子

静岡市消防団 部長 大村 陽子

(7) 静岡県女性消防団員連絡協議会への助成

静岡県内各市町消防団の女性消防団員の連携・強化を図る事業を行う当協議会の活動費等に対して助成した。

助成金 200,000円

2 消防防災に関する指導、研修及び調査研究

(1) 消防団長研修会の開催

市町消防団の団長に対する消防防災に関する特別研修会を開催した。

令和5年6月13日(火) グランディエールブケトーカイ(静岡市)

○消防行政の事業説明

講師 静岡県危機管理部消防保安課長 櫻井 克俊 氏

○講演

第1部「これからの消防団運営のあり方について」

社会福祉法人 岩崎学園理事長(元愛知県豊橋市消防団長)

松下 直弘 氏

第2部「令和元年東日本台風災害を経験して」

元長野県長野市消防団長

高木 芳博 氏

参加者 団長34名、相談役2名、常任幹事等17名

(2) 災害対応・防災対策状況等視察の実施

災害時における消防団員の対応や防災対策についての知識の向上等を図るため、他県の災害対応・防災対策状況等について、視察研修を実施した。

令和5年9月10日(土)～11日(日)

・福岡市民防災センター

・北九州市消防局及び旦過市場(北九州市小倉北区)

理事・監事参加者 12名

3 消防防災に関する思想の普及啓発

(1) 消防職団員意見発表会の開催

消防団員の団結と士気の高揚を図るとともに、消防団の意義や活動内容の周知啓発を図るため、消防職団員意見発表会を開催した。

令和5年11月18日(土) アクトシティー浜松大ホール

①「大切な町を守るために」

東伊豆町消防団

団員 安立 さくら

②「団員不足を補うための第2方面隊の行動」

三島市消防団

本部部長 齋藤 靖

③「過疎地における消防団の重要性と存続への模索」

静岡市消防団 団員 大村 和伸

④「消防団活動と息子」

静岡市消防団 副分団長 望月 志織

⑤「また消防？」

森町消防団 本部長 鈴木 智幸

⑥「今の自分にできること」

浜松市消防団 団員 古田 泉

⑦「自らの命を守るために」

駿東伊豆消防本部 消防士 飯泉 亜美紗

⑧「スマートウォッチで情報を「見える化」」

浜松市消防局 消防士長 土井 康政

(2) 消防団員の準中型免許等の取得費用に対する補助

道路交通法の改正により、平成29年3月から準中型免許が新設されたことに伴い制定した準中型免許などの取得補助金交付要綱に基づき、所持する運転免許で所属する分団の消防車両を運転できない消防団員に対し、免許取得に係る補助金を交付した。

| | | |
|----------|----|----------|
| 伊豆の国市消防団 | 1名 | 54,850円 |
| 伊豆市消防団 | 8名 | 428,277円 |
| 函南町消防団 | 4名 | 230,000円 |
| 沼津市消防団 | 3名 | 140,865円 |
| 御殿場市消防団 | 6名 | 267,000円 |
| 清水町消防団 | 2名 | 122,900円 |
| 富士市消防団 | 1名 | 53,310円 |
| 島田市消防団 | 1名 | 46,000円 |
| 牧之原市消防団 | 7名 | 353,116円 |
| 川根本町消防団 | 1名 | 46,416円 |
| 掛川市消防団 | 3名 | 170,783円 |

| | | |
|---------|----|----------|
| 菊川市消防団 | 8名 | 465,298円 |
| 御前崎市消防団 | 1名 | 55,000円 |
| 磐田市消防団 | 2名 | 113,000円 |
| 森町消防団 | 2名 | 104,000円 |
| 浜松市消防団 | 1名 | 50,000円 |
| 湖西市消防団 | 4名 | 263,900円 |

(合計) (17市町) (50名) (2,964,715円)

(3) 全国女性消防団員活性化大会への参加

全国の女性消防団員が集い、女性消防団員相互の情報交流を通じ地域防災力の向上及び女性消防団員の育成・活性化を図るため開催する第28回全国女性消防団員活性化大会に参加した。

令和5年11月16日(木) いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)

女性消防団員等参加者 119名

(4) 「消防団応援の店」等の普及促進

消防団員の確保や加入促進を図るため、事業所や販売店の協力により消防団員に対する各種サービスを提供する制度として、「消防団応援の店」等の普及促進を図った。

① 「消防団応援の店」

| | |
|-------|-----------------------------|
| 伊東市 | 80店舗 |
| 三島市 | 47店舗 |
| 伊豆市 | 4店舗 |
| 伊豆の国市 | 55店舗 |
| 函南町 | 41店舗 |
| 沼津市 | 106店舗 |
| 御殿場市 | 29店舗 (「全国消防団応援の店」にも18店舗が登録) |
| 長泉町 | 22店舗 |
| 静岡市 | 59店舗 |
| 藤枝市 | 21店舗 |
| 島田市 | 2店舗 |

| | |
|------|--------|
| 掛川市 | 17 店舗 |
| 菊川市 | 49 店舗 |
| 御前崎市 | 58 店舗 |
| 磐田市 | 47 店舗 |
| 袋井市 | 62 店舗) |
| 湖西市 | 40 店舗 |

(合計 17 市町、739 店舗)

②「ふじのくに消防団応援連盟」

参加団体運営観光施設 7 か所

③「消防団支援自動販売機」

| | |
|------|-----|
| 東伊豆町 | 3 台 |
| 裾野市 | 1 台 |
| 静岡市 | 1 台 |

(5) 防火広報に対する助成

秋季・春季の全国火災予防運動に合わせて行う防火広報や模擬訓練実施
に対し、支部に助成金を交付した。

秋の全国火災予防運動 令和5年11月9日(木)～15日(水)

春の全国火災予防運動 令和6年3月1日(金)～7日(木)

助成金 1,000,000 円

(6) 静岡県消防大会における決議事項の要望活動の実施

令和5年度静岡県消防大会(浜松市)での下記決議事項6件を県議会議
長等関係機関に要望した。

- ①事業所における消防団への協力体制の強化・促進と消防団員への支援に
ついて
- ②消防団員確保のための取り組みについて
- ③消防団への加入促進及び財政措置について
- ④常備消防との更なる連携強化について
- ⑤「消防団応援の店」の県全体への拡充について
- ⑥消防団への支援拡充について

(7) 消防団防災学習・災害活動車両交付事務事業

日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業の還元事業等として、防災活動車等の車両交付が行われており、交付事務を実施し交付された。

伊豆の国市消防団 消防団活動車（SUV型）1台

(8) 消防制服整備

静岡県消防協会総裁及びその代理として各種行事に参加する県職員に対して、制服を貸与した。

(9) 各種広報活動の実施・協力

ホームページでの消防団活動のPR、日本消防協会が作成する機関誌「日本消防」・ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」等での消防団及び団員の活動紹介、防火ポスターの配布等、消防団活動のPR及び防火思想の普及高揚を図った。

①ホームページ お知らせ、消防団案内、業務・財務資料等を更新した。

②機関誌「日本消防」

令和5年10月号「消防団の広場」 川根本町消防団 団長 井口 晶彦

11月号「東西南北」 清水町消防団 団長 山本 俊洋

「うちの名物団員 南伊豆町消防団 団員 田村ロータス翔音

令和6年3月号「東西南北」 湖西市消防団 団長 尾崎 俊也

「うちの名物団員 浜松市消防団 団員 山口 祥歩

③ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」

令和5年8月26、27日放送分 静岡市消防団 班長 吉川 諒祐

(10) 消防団員確保対策

消防団員確保対策事業として、一昨年度に制作したテレビCM用の動画を使い消防団員募集の広告放映を行った。令和5年度は、テレビに特化し、6月下旬の大雨や台風による水害に関する防災特別番組に協賛する形で、一般県民の中でも防災関連番組を視聴する比較的防災に関心のある方をターゲットに番組内でCM放映を行った。

また、7月から8月にかけては、主人公が消防団員というテレビドラマ（ハヤブサ消防団）が放映されたことから、若者など多くの県民に対して消防団に

直接関心を持ってもらう絶好の機会と捉え、タイムリーに団員募集のCMを放映することで、団員確保対策を行った。

このほか、3月11日の東日本大震災の前後には報道番組・情報番組で特集が組まれることから、それらの番組内でスポット的にCMを放映した。

また、市町での活用や一般の方に見てもらうため、CM動画を県協会のホームページに掲載した。

【令和5年度実績】

テレビCM：民放3局

・災害特番「SBSテレビ 2022年の台風15号から学ぶ！」

(令和5年6月24日(土) 15:00~15:55) 協賛・CM放映 2本

・テレビドラマ「静岡朝日テレビ ハヤブサ消防団」

(令和5年7月13日(木)~9月14日(木) 21:00~) CM放映 9本

・報道番組・情報番組内スポットCM「テレビ静岡 めざましテレビ、ぽかぽか、ごごスペ!、FNN Live News、日曜報道 THE PRIME ほか」

(令和6年3月7日(木)~3月12日(火)) CM放映 19本

4 消防団、消防団員及び消防功労者に対する功労表彰

(1) 静岡県消防大会での表彰

消防団長、教育訓練指導員として功労のあった者に対し表彰した。

併せて国、県、各市町及び関係機関への要望を決議した。

令和5年11月18日(土) アクトシティ浜松「大ホール」

○消防協会役員退職者感謝状

渡邊 明夫 (前 公益財団法人静岡県消防協会 理事)

榊原 敬介 (前 公益財団法人静岡県消防協会 理事)

木下 和義 (前 公益財団法人静岡県消防協会 監事)

○消防団長退職者感謝状

辻 洋幸 (前 函南町消防団 団長)

山下 芳則 (前 御前崎市消防団 団長)

榊原 雄太 (前 森町消防団 団長)

○協力事業所

焼津市社会福祉協議会 (焼津市)

浜名湖電装株式会社 (湖西市)

(2) 静岡県消防協会定例表彰

各市町消防団で開催された消防出初式等において、消防活動等に功績があった消防団及び消防団員に対し表彰し、永年勤続（25年以上）団員の家族に対し感謝状を贈呈した。

| | |
|---------------|-------|
| 功績竿頭綬（無火災） | 1 団 |
| 顕功章 | 1 名 |
| 特別功績章 | 88 名 |
| 功績章 | 168 名 |
| 特別功労章 | 293 名 |
| 功労章 | 404 名 |
| 勤続功労章（55 年以上） | 2 名 |
| 勤続功労章（45 年以上） | 3 名 |
| 勤続功労章（40 年以上） | 19 名 |
| 勤続功労章（35 年以上） | 34 名 |
| 勤続功労章（30 年以上） | 90 名 |
| 勤続功労章（25 年以上） | 155 名 |
| 勤続功労章（20 年以上） | 277 名 |
| 勤続功労章（15 年以上） | 411 名 |
| 勤続功労章（10 年以上） | 655 名 |
| 家族感謝状 | 155 名 |

(3) 日本消防協会による表彰事務

日本消防協会表彰基準に基づき優良消防団（団員）等を選考の上、日本消防協会へ上申し、表彰された。

| | |
|---------|--------------|
| 特別表彰まとい | 1 団体（長泉町消防団） |
| 竿頭綬 | 1 団体（函南町消防団） |
| 功績章 | 18 名 |
| 精績章 | 43 名 |

5 消防殉職者及び負傷した消防団員等に対する弔意救済

(1) 賞じゅつ金及び見舞金の支給

令和5年度は賞じゅつ金の支給はなかった。休業者見舞金を2件支給した。

(2) 全国消防殉職者慰霊祭への参加

第42回全国消防殉職者慰霊祭に県内の遺族とともに参加し、殉職者の御霊を慰めた。

令和5年9月14日(木) ニッショーホール

参加御遺族等 2名

6 消防団員の福利厚生等

(1) 福祉共済等事業

日本消防協会の福祉共済への加入及び給付金の請求・交付事務を行うとともに、消防個人年金制度の加入促進を図った。

① 福祉共済

加入団体 35団体(34消防団、1消防本部)

加入者数 16,800名(令和6年3月現在)

交付共済金額 13,555,000円

② 消防個人年金

加入者数 605名(令和6年1月現在)

(2) 健康維持・体力錬成の推進事務事業

消防団員の健康増進等を促進するため、日本消防協会の消防団員等福祉共済による助成を受け、健康増進機器等を購入配布する事務を行った。

(3) 火災共済事業

全日本消防人共済会の火災共済事業の加入促進を支援した。

火災共済の契約者数 1,132名(令和5年1月～12月)

7 会議等

(1) 県消防協会関係

① 評議員会

令和5年5月25日(木) グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 令和4年度事業報告について
2号議案 令和4年度収支決算について
3号議案 評議員の選任について
4号議案 理事、監事の選任について

② 理事会

第1回 令和5年5月9日(火) グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 令和4年度事業報告について
2号議案 令和4年度収支決算について
3号議案 令和4年度定時評議員会の開催について

第2回 令和5年5月25日(木) グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 静岡県消防協会役員等制服規程の改正について
2号議案 各委員会委員の選任について
3号議案 参与の選任について

第3回 令和5年8月3日(木) グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 全国女性消防操法大会出場団への支援金の授与
について
2号議案 令和6年度の会費・賞じゅつ金負担額について
3号議案 令和5年度静岡県消防大会・消防職団員意見発
表会について
4号議案 消防団員指導員研修(現場指揮課程)における
各消防団からの交付申請について

第4回 令和5年12月14日(木) グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 事務事業に関する押印廃止について

第5回 令和6年3月5日(火) グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 令和5年度収支予算の変更について
2号議案 令和6年度事業計画について
3号議案 令和6年度収支予算について

③ 正副会長会議

当面する協会の諸問題及び理事会における議題等について協議した。

令和5年4月25日（火） グランディエールブケトーカイ

令和5年7月13日（木） グランディエールブケトーカイ

令和5年11月24日（金） グランディエールブケトーカイ

令和6年2月20日（火） グランディエールブケトーカイ

(2) 日本消防協会関係

① 評議員会・理事会・監査、全日本消防人共済会

評議員会 令和5年6月22日（木） 日本消防会館

全日本消防人共済会総代会 令和5年6月22日（木） 日本消防会館

全日本消防人共済会臨時総代会 令和5年7月14日（木） 書面開催

評議員会 令和5年12月1日（金） 書面開催

評議員会 令和6年3月7日（金） 日本消防会館

全日本消防人共済会臨時総代会 令和6年3月7日（金） 日本消防会館

② 都道府県消防協会事務局長会議

令和6年2月28日（水） 日本消防会館

(3) 中部7県関係

中部7県消防協会長及び消防主管課長会議

令和5年11月8日（水） 静岡県開催 ホテルグランヒルズ静岡

(4) 静岡県関係

① 静岡県消防学校運営協議会

② 静岡県防災会議

③ 静岡県山岳遭難防止対策協議会

④ 静岡県幼少年女性防火委員会

⑤ 静岡県交通安全対策協議会

⑥ しずおか男女共同参画推進会議

⑦ 静岡県コミュニティづくり推進協議会